

Knowledge Suite

脳力をフル活用できる世界へ。

Change The Business

日本の企業は日本のソフトウェアで守ります

2019年9月期 第3四半期

決算説明資料

ナレッジスイート株式会社
証券コード：3999

2019年8月

1 2019年9月期 第3四半期 連結決算概要

2 2019年9月期 通期連結業績見通し

1

2019年9月期 第3四半期決算概要

IT人材への成長投資へ

- 「IT導入支援事業者」3年連続認定
- 全国主要都市での展示会等プロモーション強化
- クラウドサービス設備・人材投資を前倒し実施
- 需要拡大に対応できる営業・コンサル人材の採用・育成開始
- 経営資源（IT技術者リソース）をクラウドソリューション事業へ
- 100%子会社2社を合併し、株式会社アーキテクトコア始動（2019年8月）

クラウドソリューション事業

経済産業省「平成29年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業」
「IT導入支援事業者」に認定（3年連続）

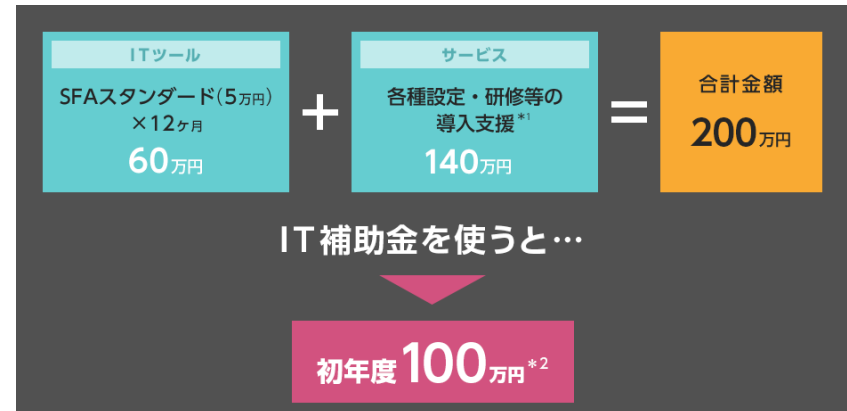
クラウドサービス

SFA/CRMにグループウェアがついた
統合ビジネスアプリケーション **Knowledge Suite**

ノンプログラミングで
業務アプリケーション開発プラットフォーム **Shelter** **NEW**

補助金対象のITツールとして採択
導入する企業は
補助金を受け取ることが可能

<Knowledge Suite SFAスタンダードの場合>



中小企業の導入企業増加へ

<IT導入補助金について>

サービス等生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）は、国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、自社の置かれた環境から強み・弱みを認識、分析し、生産性の向上に資する要素として「ITの利活用」を設定した上で、こうしたITツール（ソフトウェア、サービス等）のサービスを導入しようとする事業者に対して、その事業費等の経費の一部を補助することにより、中小企業・小規模事業者の経営力向上を図ることを目的としています。

システムエンジニアリング事業

子会社間の合併及び商号変更（2019年8月）

株式会社フジソフトサービス



ビクタス株式会社



オープン系問わず多数のシステム開発の実績を基盤に、高いIT技術力を有する技術者集団

合併

株式会社アーキテクトコア



アーキテクトコアは、高度IT技術を活かせるエンジニアの育成に力を注ぎ、第4次産業革命の荒波を渡るために必要なIT技術を持つ技術者集団をめざします。

2019年9月期第3四半期 連結決算 概要

IT人材への成長投資により売上高、営業利益とも前年同期で大幅増。

売上高	1,612 百万円	対前年同期 増減率	135.7 %増	通期 計画	2,202 百万円
営業利益	43 百万円	対前年同期 増減率	42.5 %増	通期 計画	60 百万円

クラウドソリューション事業

契約社数は増加したものの、障害による解約が一時増加した影響で売上高は微増。一方ソリューション受注先送り、プロモーション、インフラ設備への積極投資により減益。



売上高	632 百万円	対前年同期 増減率	2.7 %増
セグメント 利益	190 百万円	対前年同期 増減率	22.8 %減

システムエンジニアリング事業

取引先深耕により継続受注が順調に推移。クラウドソリューション事業への経営資源（エンジニア）をシフト開始。

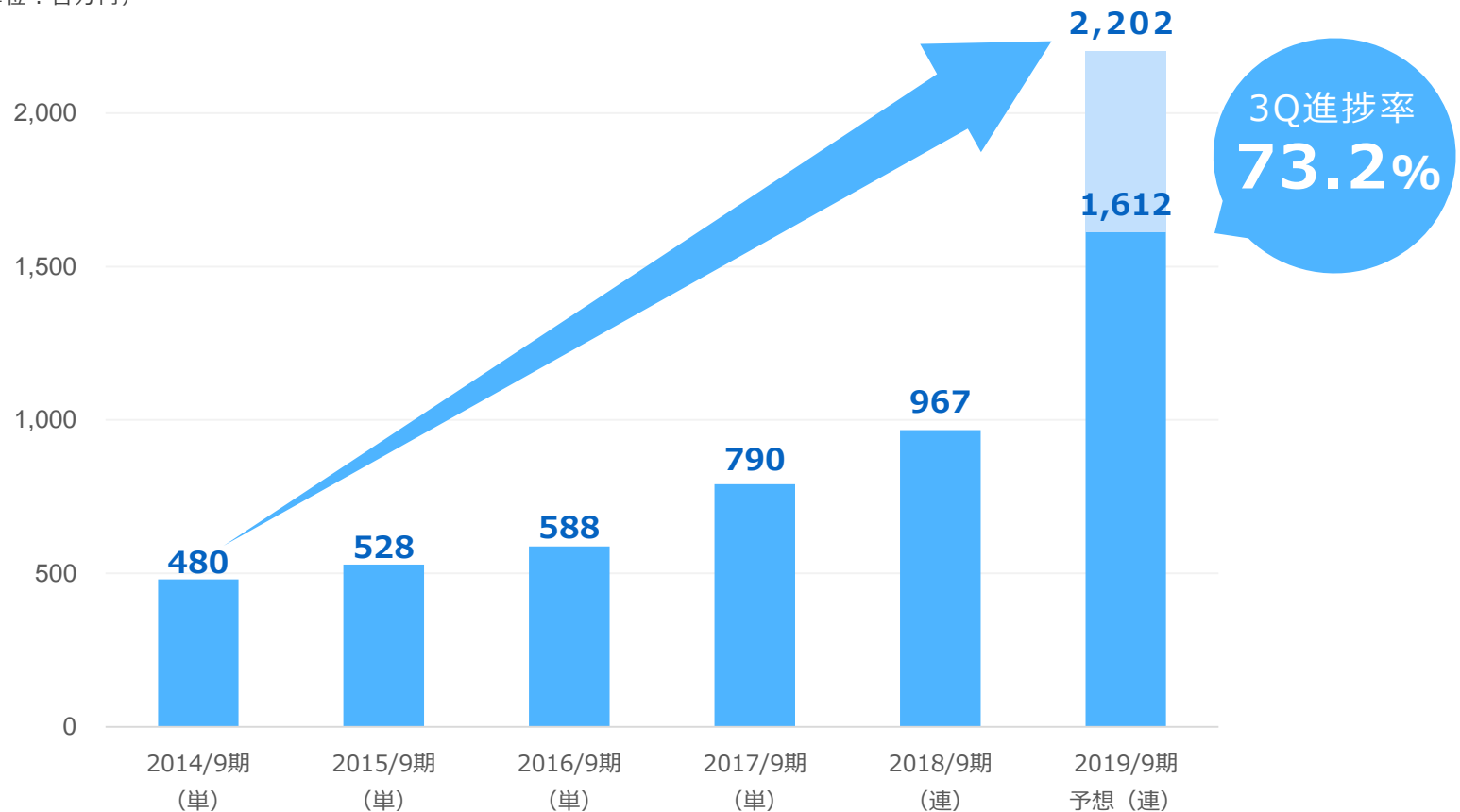
売上高	983 百万円	対前年同期 増減率	1,328.7 %増
セグメント 利益	132 百万円	対前年同期 増減率	498.5 %増

(注) 2019年9月期第1四半期より(株)アーキテクトコア(旧ビクタス(株))を連結対象としております。

2019年9月期 3Q 連結売上高推移

7期連続増収達成見込み

(単位：百万円)



2019年9月期 3Q 連結損益計算書

IT人材への成長投資

(単位：百万円)	18/9期 3Q	売上比率	19/9期 3Q	売上比率	前期 増減比
売上高	684 百万円	100.0 %	1,612 百万円	100.0 %	135.7 %増
売上原価	242 百万円	35.4 %	1,010 百万円	62.7 %	317.2 %増
売上総利益	442 百万円	64.6 %	602 百万円	37.3 %	36.2 %増
販管費	411 百万円	60.1 %	558 百万円	34.6 %	35.8 %増
営業利益	30 百万円	4.5 %	43 百万円	2.7 %	42.5 %増
経常利益	22 百万円	3.3 %	40 百万円	2.5 %	77.0 %増
親会社株主に帰属する 当期純利益	41 百万円	6.0 %	9 百万円	0.6 %	77.3 %減

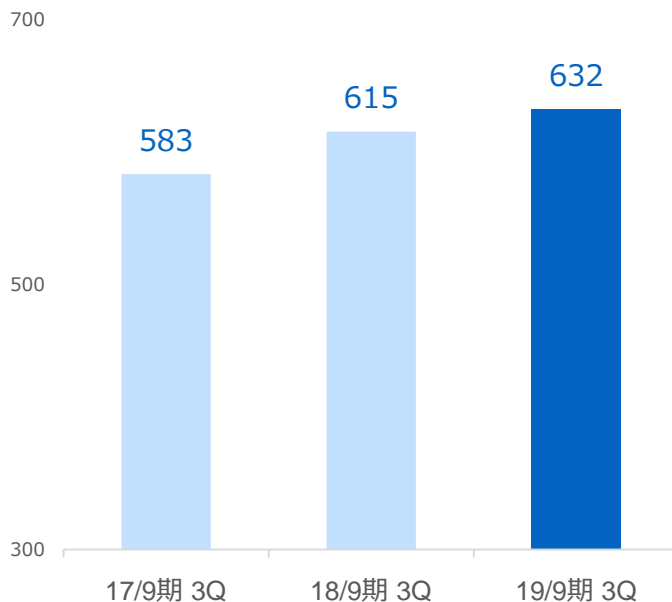
2019年9月期 3Q セグメント別の状況

クラウドソリューション事業

「Knowledge Suite」障害の影響により売上高は微増
プロモーション、インフラ設備への投資により減益

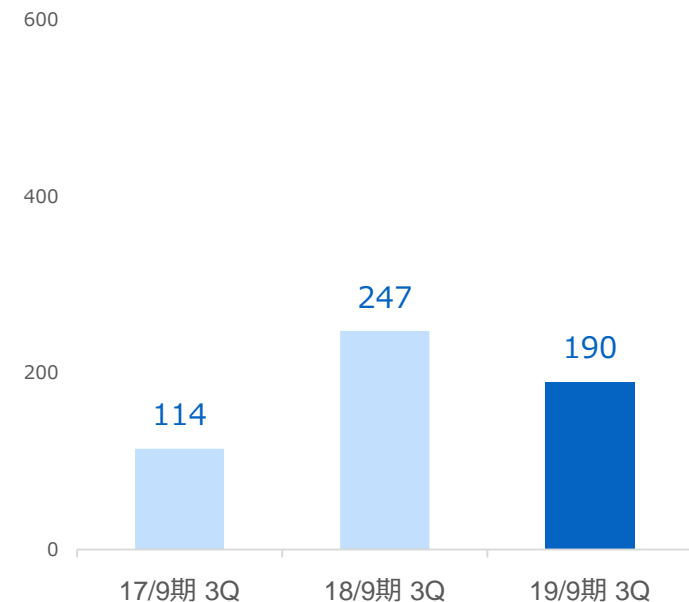
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



(注) 2018年9月期第3四半期連結会計期間より、単一セグメントから「クラウドソリューション事業」と「システムエンジニアリング事業」にセグメント区分する変更を行っております。

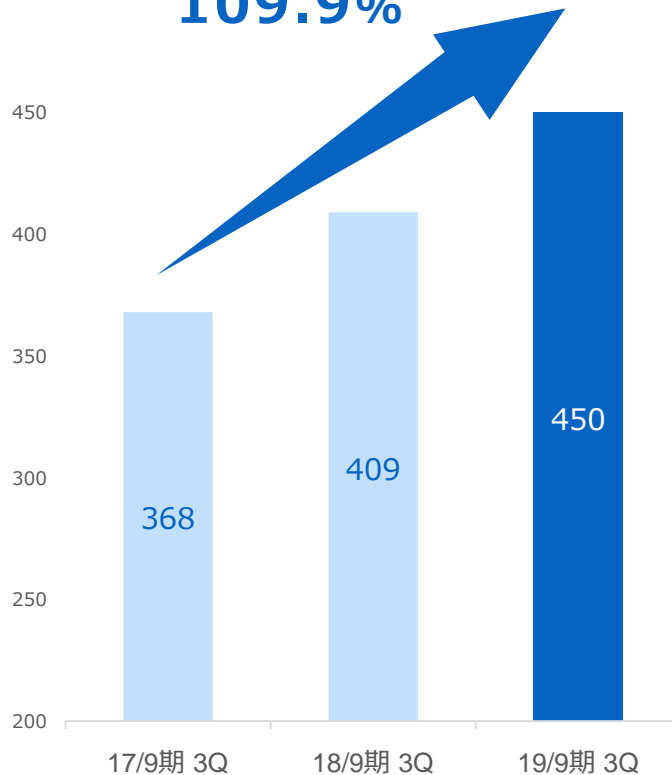
2019年9月期 3Q セグメント別の状況

クラウドソリューション事業

クラウドサービス（サブスク）／ 導入コンサル売上高
当四半期（4月～6月）は障害の影響で微増

クラウドサービス（サブスク）売上高累計

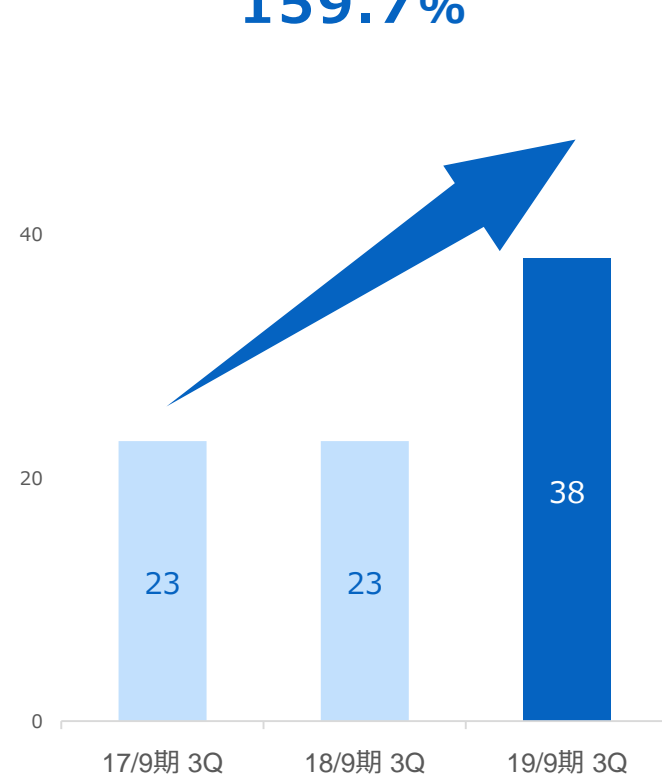
前年同期比
109.9%



(単位：百万円)

導入コンサルティング売上高累計

前年同期比
159.7%



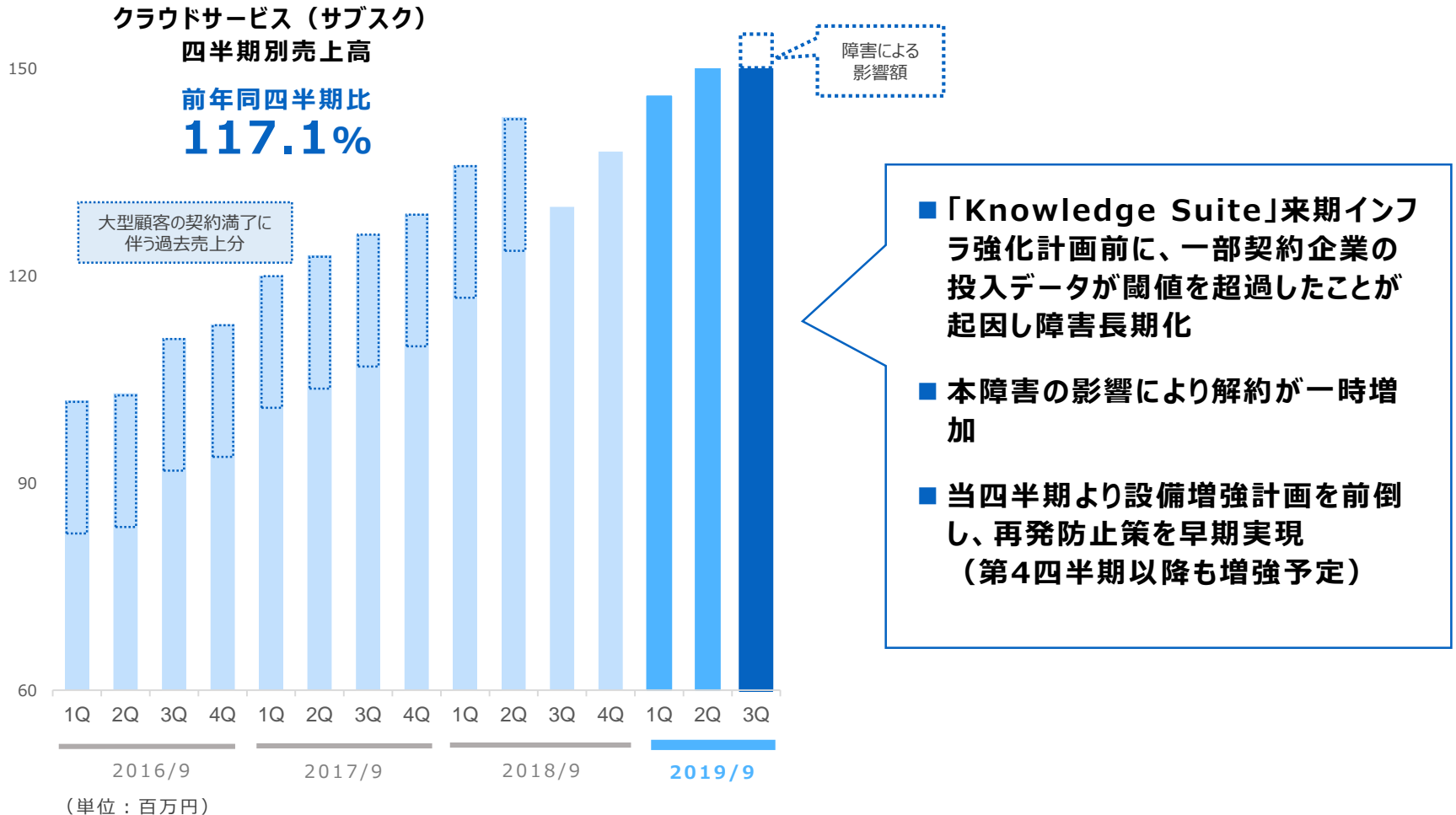
(単位：百万円)

2019年9月期 3Q セグメント別の状況

クラウドソリューション事業

クラウドサービス（サブスク）売上高（四半期別）

当四半期（4月～6月）は障害の影響で微増

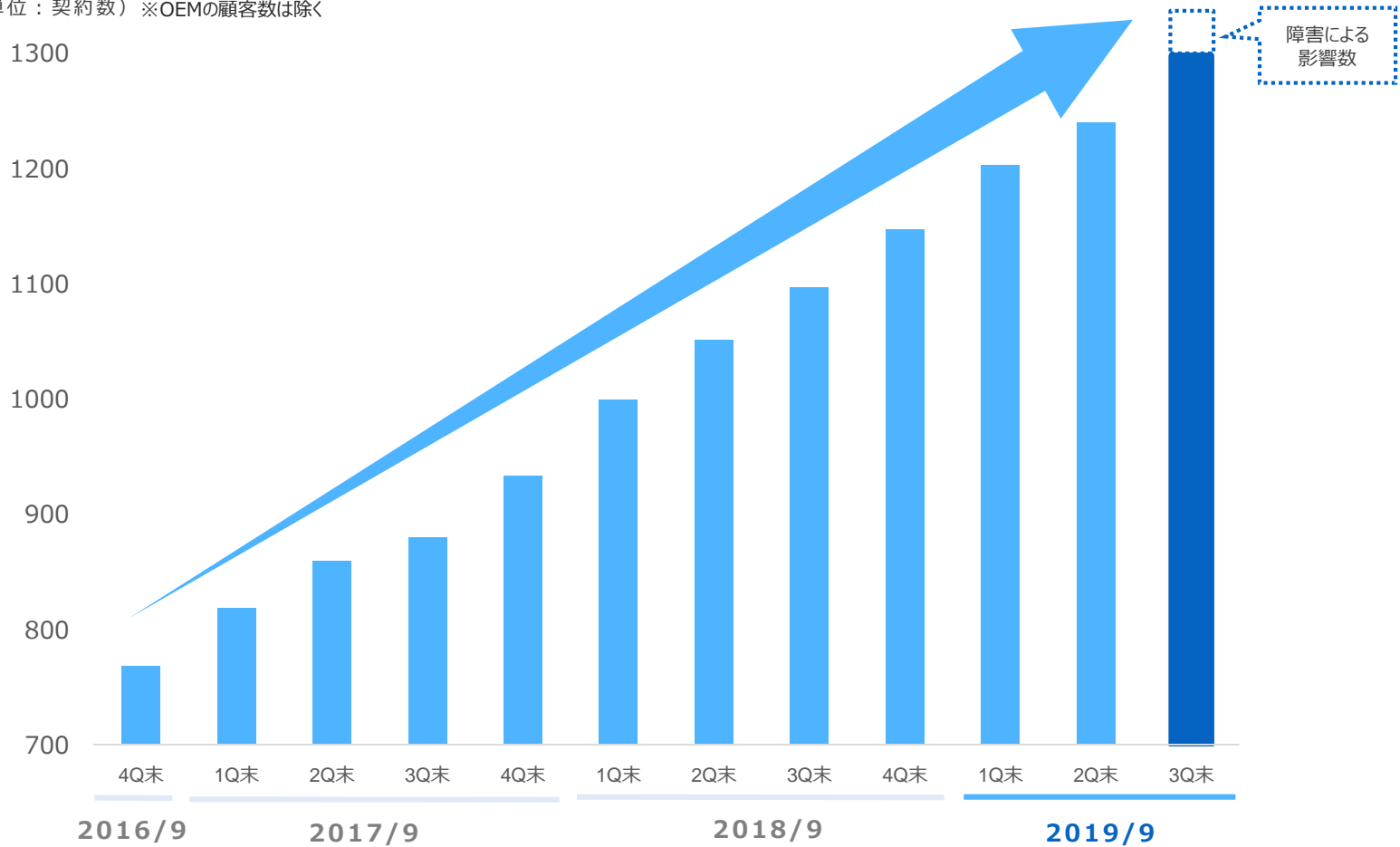


2019年9月期 3Q セグメント別の状況

クラウドソリューション事業

クラウドサービス契約数推移（四半期別） 1,300社へ
当四半期（4月～6月）は障害の影響で微増

（単位：契約数）※OEMの顧客数は除く

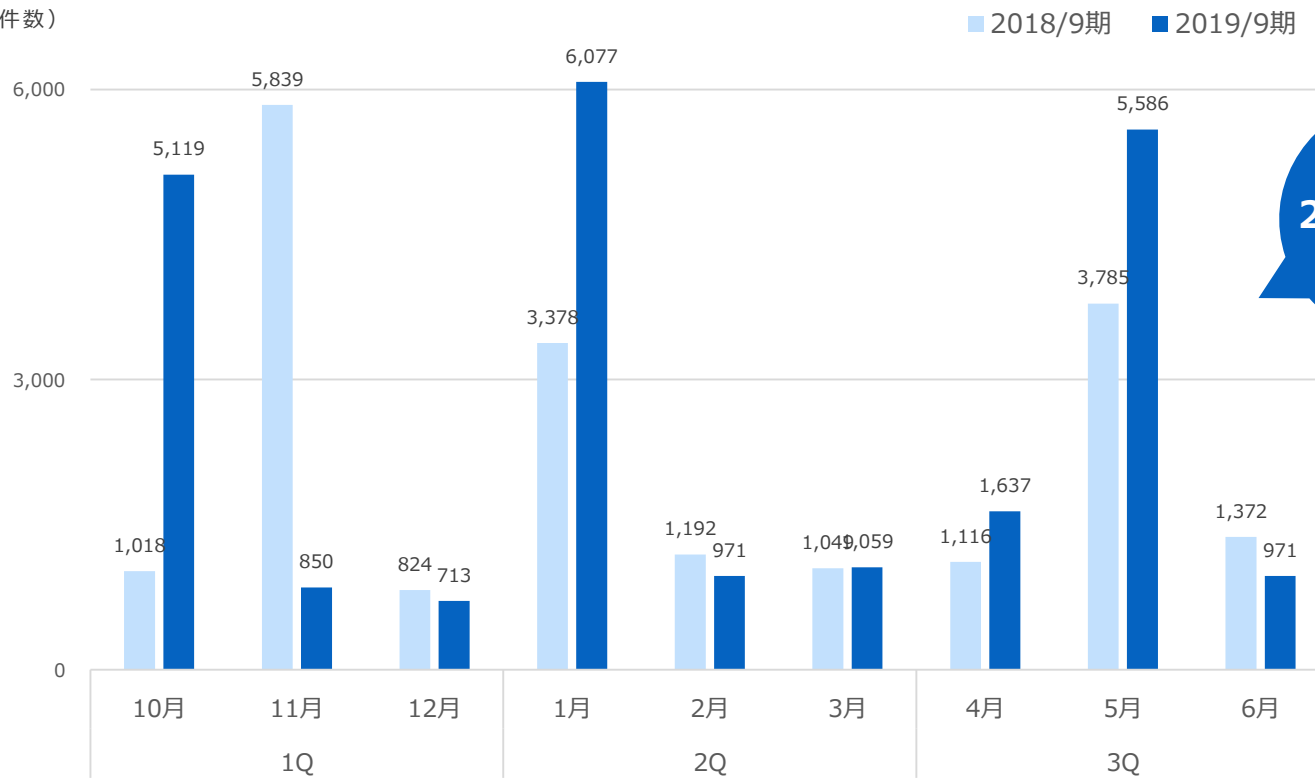


2019年9月期 3Q セグメント別の状況

クラウドソリューション事業

クラウドサービス リード獲得数 3,410件増
リード数は増加基調のため、今後の受注へ影響は軽微

(単位：件数)



2018/9期3Q累計 19,573 リード
2019/9期3Q累計 22,983 リード

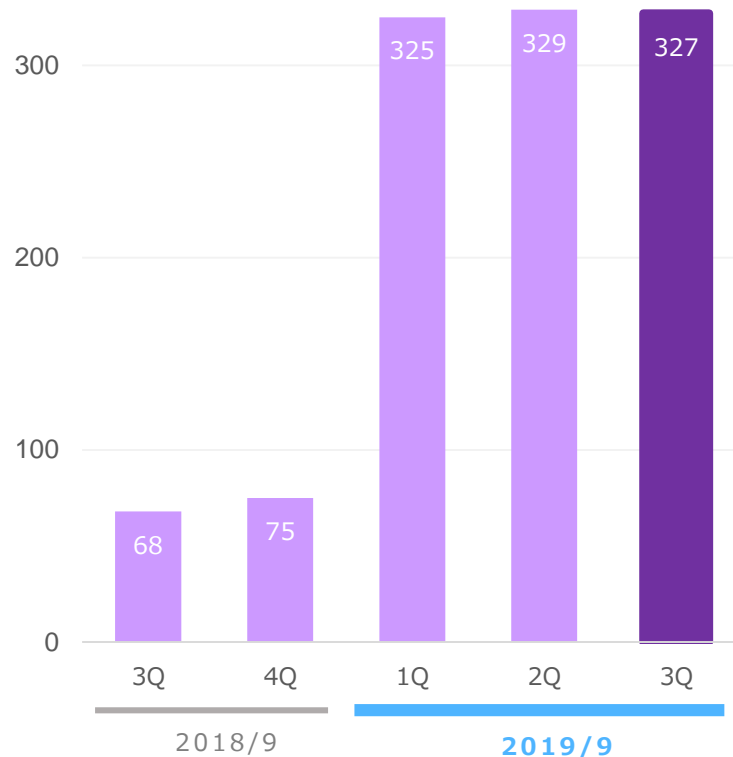
2019年9月期 3Q セグメント別の状況

システムエンジニアリング事業

M&AでIT技術者リソースを安定確保

2018年10月1日付でビクタス株式会社を子会社化

(単位：百万円)

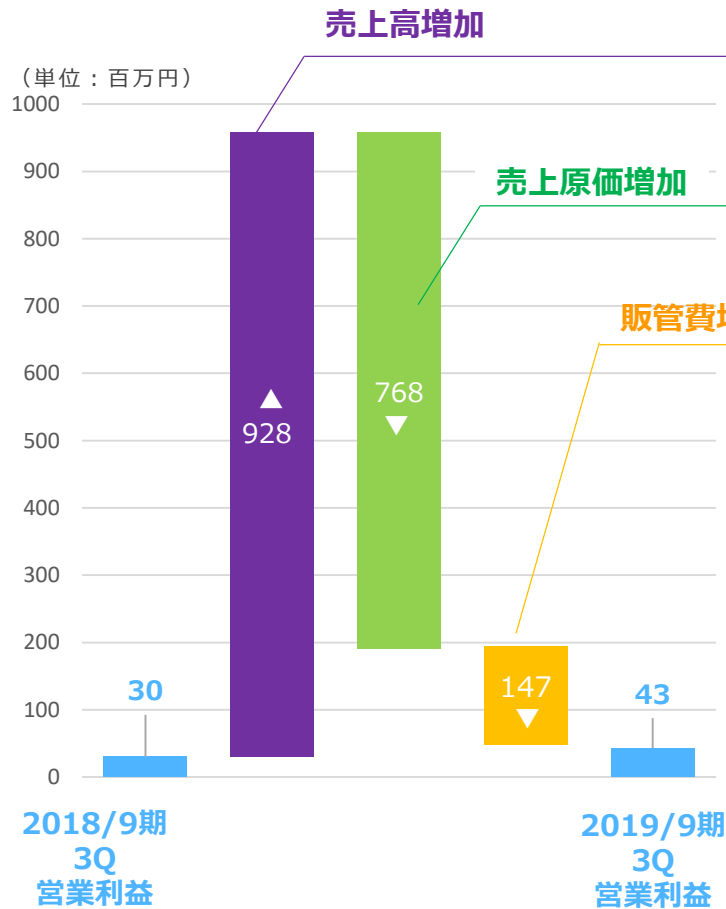


- 子会社アーキテクトコア社（フジソフトサービス&ビクタス）売上高が寄与
- 当社グループIT技術者（エンジニア）数が増加
- 経営資源（IT技術者リソース）をクラウドソリューション事業へ（ナレッジスイート社へ受入開始）

2019年9月期 3Q 営業利益増減分析

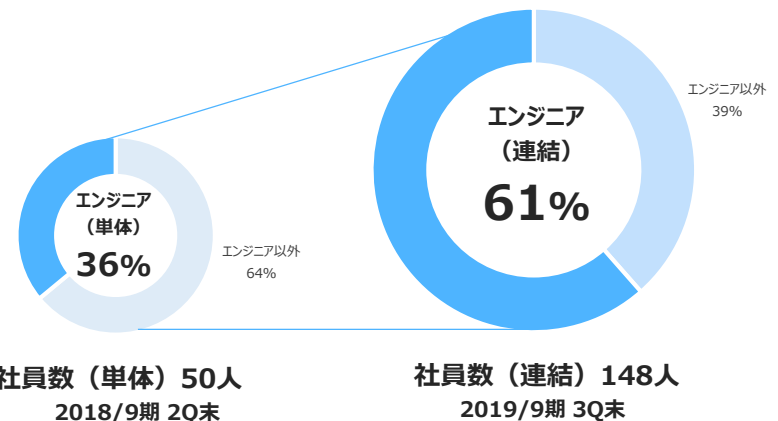
将来成長のための投資へ

IT技術者（エンジニア）の増員により人件費増



主な要因

- クラウドソリューション売上高増加 + 16百万円
- システムエンジニアリング売上高増加 (M&Aによる子会社の増収) + 912百万円
- 人件費 (内部エンジニア) の増加 + 156百万円
- 業務委託費 (エンジニア) の増加 + 468百万円
- 人件費の増加 + 60百万円
- のれん償却費の増加 + 37百万円
- 広告宣伝費の増加 + 18百万円



2019年9月期 3Q 連結貸借対照表

M & Aにより資産増加

現預金等の流動資産、無形固定資産等の増加
M & Aに伴う借入金等の増加

(単位：百万円)

	2018/9	2019/9 3Q	増減額
流動資産	1,117	1,417	+299
現金・預金	935	1,142	+206
売掛金	139	260	+120
その他	42	14	-27
固定資産	554	826	+272
有形固定資産	104	93	-10
無形固定資産	353	586	+232
投資その他資産	96	147	+50
資産合計	1,671	2,243	+572

	2018/9	2019/9 3Q	増減額
流動負債	187	468	+281
1年内返済予定の長期借入金	68	186	+118
買掛金	17	113	+96
その他	102	168	+66
固定負債	488	747	+258
長期借入金	431	684	+253
その他	57	63	+5
純資産合計	995	1,027	+32
資本金	650	662	+11
資本剰余金	641	652	+11
利益剰余金	-296	-287	+9
負債純資産合計	1,671	2,243	+572
自己資本比率		45.8%	

2

2019年9月期
通期業績見通し

2019年9月期 通期連結業績予想および進捗状況

通期計画予想の進捗

当該利益計画に対する増加分を
成長加速に向けた積極投資を継続していく見込み

(単位：百万円)	18/9期 (実績)	19/9期 (予想)	前期 増減比	19/9期3Q (実績)	進捗率
売上高	967 百万円	2,202 百万円	127.6 %増	1,612 百万円	73.2 %
営業利益	48 百万円	60 百万円	25.4 %増	43 百万円	72.2 %
利益率	5.0 %	2.8 %	-	2.7 %	-
経常利益	43 百万円	52 百万円	19.4 %増	40 百万円	77.2 %
利益率	4.5 %	2.4 %	-	2.5 %	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	59 百万円	138 百万円	131.9 %増	9 百万円	6.8 %
利益率	6.2 %	6.3 %	-	0.6 %	-

※第4四半期売上高は順調に進捗する見通し

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。